

## おおさか東線鉄道事業評価監視委員会

### ○委員

委員長 松澤 俊雄 大阪市立大学名誉教授

委員 毛海 千佳子 近畿大学経営学部准教授

### ○開催状況

#### 第1回委員会

・日時：令和5年11月29日(水)

・会場：大阪外環状鉄道(株)会議室

#### ・委員会での意見(概要)

- おおさか東線整備事業の特徴は、既存の施設を活用しながら比較的短期で建設、開業できたことが大きい。
- 全線開業を迎えた際にコロナ禍の影響を受けることになったが、全線で利用者が増加傾向となるなど、全体的に順調に成果を上げている。
- おおさか東線により、周辺地区の利便性も高まっている。
- 利用者への効果・影響に関連して、所要時間の短縮効果もあるが、利用者の経路の選択肢を増やすという意味での効果は大きい。
- 混雑する都心部を経由する必要がないという点も利用者への効果としては大きい。
- 一般的に事後評価については、人口減少傾向等を踏まえると、便益の推移は厳しいものになることが多い。しかしながら、おおさか東線については、費用対便益の面だけでなく他の効果の面でも大変有意義な事業であった。

#### ・結論

事後評価は適正に行われており、事業としても想定した以上の効果をあげている。